

西 彼 保 健 所 感 染 症 情 報

令和7年 第 24 週 令和7年6月9日 ～ 令和7年6月15日

全数把握対象感染症 発生状況

※報告日週掲載 （県作成速報：診断日週掲載）

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	【第24週】百日咳 患者11名（10歳未満・男性4名、10代・女性3名、男性4名）

定点把握の対象となる5類感染症 発生状況 （定点医療機関当たり患者数）

疾病名	週別 発生状況		基準値			疾病名	週別 発生状況		基準値		
			警報レベル		注意 報レベ ル				警報レベル		注意 報レベ ル
	23 週	24 週	開始	終息			開始	終息			
インフルエンザ定点	0.20	0.20	30	10	10	突発性発しん	0.00	0.00			
COVID-19	0.60	0.20				ヘルパンギーナ	1.33	2.00	6	2	
急性呼吸器感染症（ARI）	85.80	77.00				流行性耳下腺炎	0.33	0.00	6	2	3
R Sウイルス感染症	0.33	1.00				急性出血性結膜炎	0.00	0.00	1	0.1	
咽頭結膜熱	2.67	1.67	3	1		流行性角結膜炎	1.00	3.00	8	4	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.67	2.33	8	4		細菌性髄膜炎	0.00	0.00			
感染性胃腸炎	7.00	6.67	20	12		無菌性髄膜炎	0.00	0.00			
水痘	2.33 警報	0.67	2	1	1	マイコプラズマ肺炎	2.00	0.00			
手足口病	0.00	0.67	5	2		クラミジア肺炎	0.00	0.00			
伝染性紅斑（りんご病）	1.00	1.67	2	1		感染性胃腸炎 （ロタウイルス）	0.00	0.00			

トピックス・季節情報

ヘルパンギーナが3週連続で急増しています。

ヘルパンギーナを起こすウイルスには消毒用エタノールの消毒効果は弱いので、予防としては日頃から密接な接触を避けること、こまめに流水と石鹸による手洗いをおこなってください。

伝染性紅斑(りんご病)が増加傾向です。

発しんが現れたときには、感染力はほぼ消失していますので、日頃からの感染症対策に努めましょう。
これまで伝染性紅斑に感染したことの無い女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性がありますので注意が必要です。

夏季休暇を控え、人の移動が増加することが予想されます(海外へ渡航される皆様へ)



- 海外においては、日本に存在しない感染症や日本よりも高い頻度で発生している感染症があります。
- 海外で注意すべき感染症に対する正しい知識と予防方法を身に付けることが大切です。
- 渡航先によって感染症が異なりますので渡航前に厚生労働省ホームページ等で確認しましょう。



※予防接種の種類によっては、数回(間隔を開けて2～3回)接種しなければならないものもありますので、海外に渡航する予定がある場合には、**出発3か月以上前に**、トラベルクリニック、渡航外来等の医療機関で、予防接種を接種するワクチンの種類と接種日程の相談をし、海外渡航に際し推奨されている予防接種の検討も行いましょう。

※海外渡航、特に開発途上国に渡航した後、少なくとも6か月の間は、渡航関連の感染症が生じる可能性があります。渡航後に体調不良を感じたら早めに医療機関を受診し、必ず海外に渡航したことを告げましょう

<参考ホームページ>

厚生労働省 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou18/index_00003.html

厚生労働省検疫所 <https://www.forth.go.jp/index.html>